

「かいづっこコミュバス無料パスポート」の実施結果について

1. 利用実績

- 利用期間 令和7年7月19日（土）～8月31日（日）
- 配布枚数 小学生：1,132名 中学生：735名 合計：1,867名
- 利用回数 1,036回

（内訳）	大人	子ども	合計
定時定路線バス	112	656	768
デマンド交通	38	230	268
合計	150	886	1,036

【参考：昨年の利用実績】

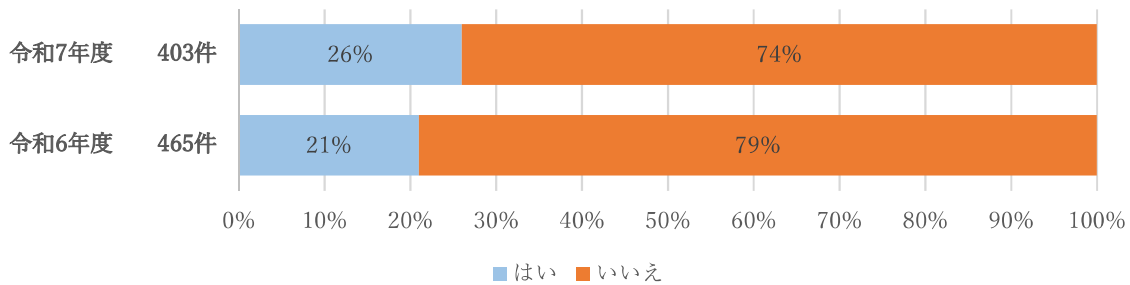
- 利用期間 令和6年7月20日（土）～9月1日（日）
- 配布枚数 小学生：1,186名 中学生：763名 合計：1,949名
- 利用回数 872回

（内訳）	大人	子ども	合計
定時定路線バス	56	610	666
デマンド交通	12	194	206
合計	68	804	872

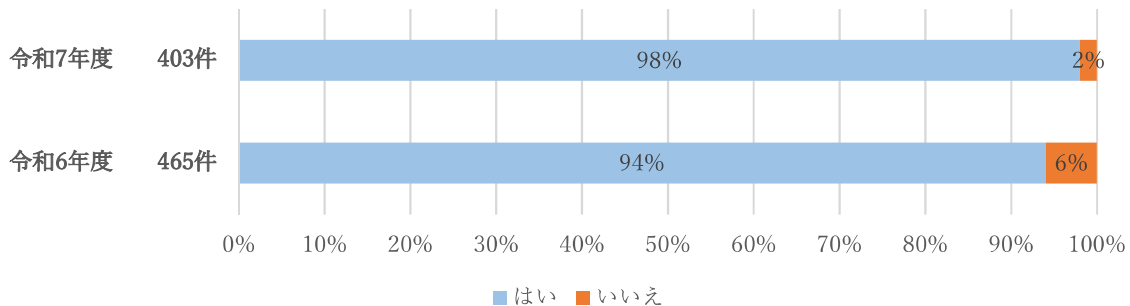
2. アンケート集計結果

- 実施方法 Logoフォームでの回答（回答ページを保護者にメール配信）
- 回答数 403件（回答率：22%）

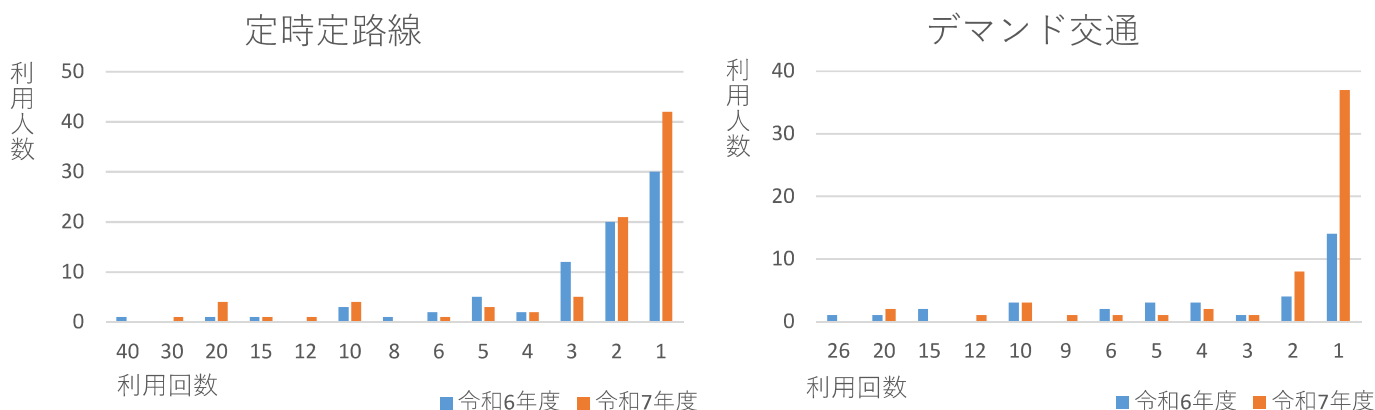
パスポートを利用しましたか？



来年度以降も事業の実施を望みますか？



○無料パスポートを何回ぐらい利用したか



○主にどこへ行ったか

- ・塾、プール、図書館、駅（津島駅、羽島駅等）、こども未来館、お千代保稲荷、木曾三川輪中ミュージアム、温泉

○無料パスポートのメリット（主な意見）

- ・今まで利用したことが無い路線を体験することができた
- ・無料だったため気軽に利用できた
- ・1人でバスに乗る練習になった
- ・親が仕事で送迎できない時に自分で塾へ行くことができた
- ・無料パスポートがあることで、コミュニティバスに乗ってみようと思えた

○無料パスポートを使用しなかった理由（主な意見）

- ・バス停が近くにない
- ・車で移動するので、バスを使うことがないから
- ・パスポートがあることを知らなかった
- ・夏休み限定で、暑すぎて利用しにくかった
- ・自分の使いたい時間とバスが来るタイミング合わないから
- ・バスで行きたいところがなかったから

○市の公共交通に対するご意見等（主な意見）

- ・普段からもコミュニティバス、デマンド交通を利用したいと思った
- ・全員に配らなくても、無料パスポート欲しい人だけでいいと思う
- ・デマンド交通については高齢の方向けに実施すると思う
- ・電車の時間に合わせたバスの運行をして欲しい
- ・夏休み以外も無料だとありがたい
- ・高校生の通学のため岐阜羽島駅、大垣駅までのスクールバスを走らせてほしい

市民アンケート結果（概要）

<調査概要>

調査対象：15歳以上の海津市民2,000人
 配布日：令和7年8月29日（金）
 締切日：9月30日（火）
 調査方法：郵送回収（WEB併用）
 回収数：817枚（郵送：639枚、Web：176枚） 回答率：40.8%

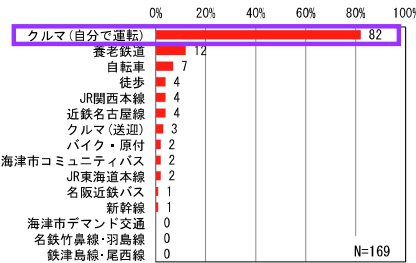
1. 日常生活行動について

通勤・通学

通勤

・通勤先までの移動手段はクルマ（自分で運転）が最も多い。

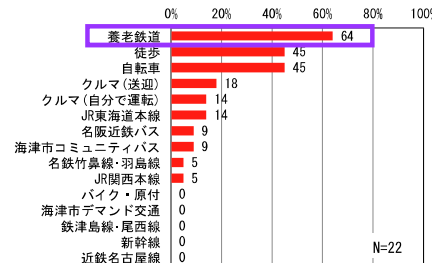
通勤先までの交通手段



通学

・通学先までの移動手段は養老鉄道が最も多い。

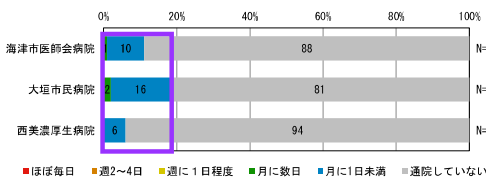
通学先までの交通手段



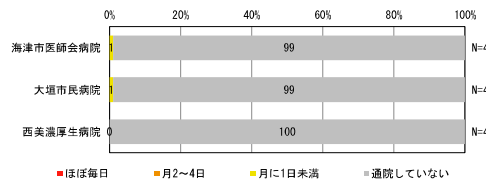
通院

・平日・休日ともに「通院していない」と回答した人が大半を占めているなかで、通院している人の利用は平日が中心となっている。
 ・通院している人の移動手段は、いずれの医療機関においてもクルマ（自分で運転）が最も多い。
 ・クルマ（送迎）を利用している割合が、買い物・公共施設と比較して高い。
 ・海津市医師会病院へはコミュニティバスを利用している人が一定数みられる。
 ・大垣市民病院へは養老鉄道、名阪近鉄バスを利用する人が一定数みられる。

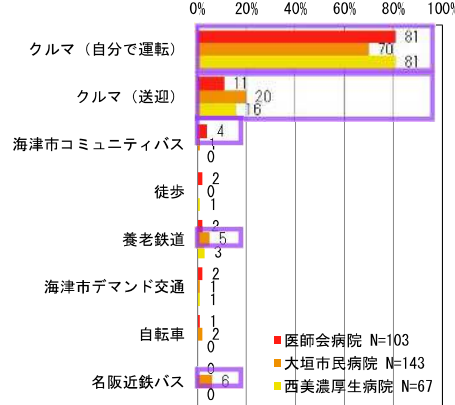
通院頻度【平日】



通院頻度【休日】



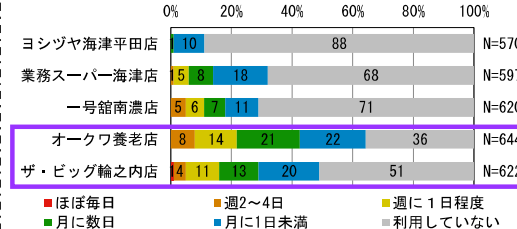
通院先までの交通手段



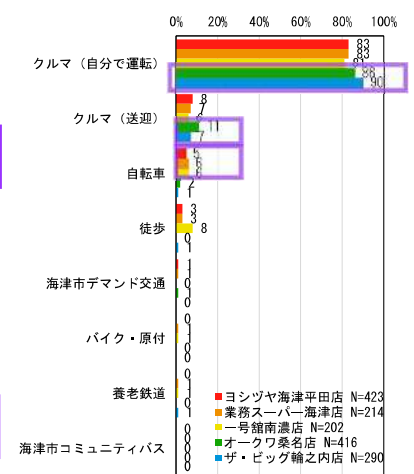
買い物

・市内の買い物施設へは平日・休日ともに、「利用していない」と回答した人が多いが、市外のオークワ養老店やザ・ビッグ輪之内店へは一定の利用がみられる。
 ・市内の買い物施設への移動手段として、自転車や徒歩を利用する人が一定数おり、比較的近隣で利用されていると考えられる。
 ・市外の買い物施設への移動手段は、ほとんどがクルマとなっている。

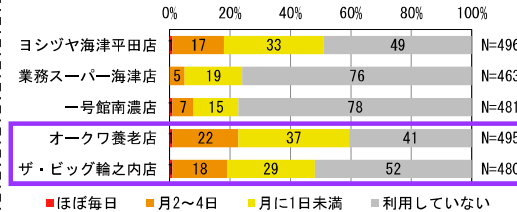
利用頻度【平日】



交通手段【平日】



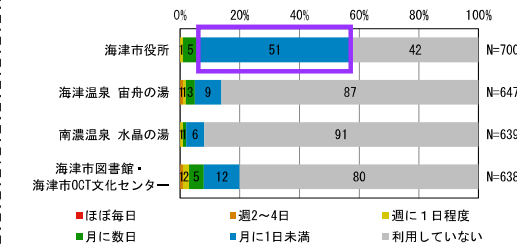
利用頻度【休日】



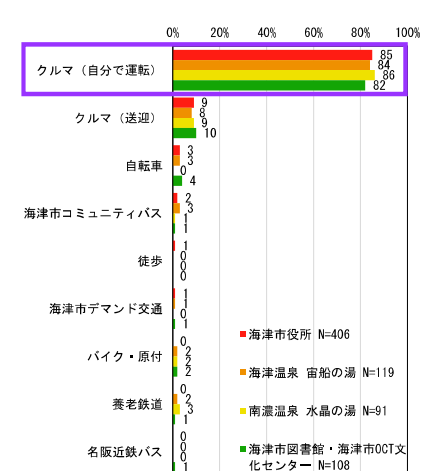
公共施設

・平日・休日ともに「利用していない」と回答した人が多い。
 ・市役所は他施設に比べ利用している割合が高いものの、月に1日未満など低頻度利用が中心である。
 ・施設利用時の移動手段は、いずれの施設においてもクルマ（自分で運転）が最も多い。

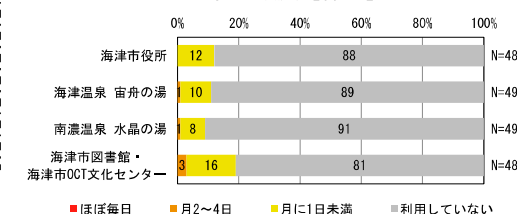
利用頻度【平日】



交通手段【平日】

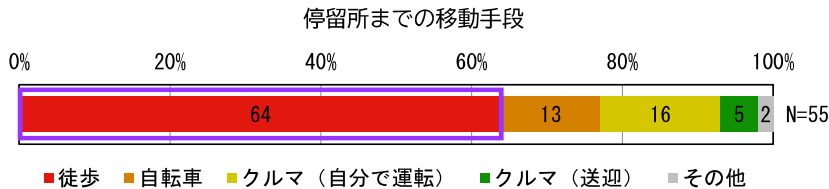
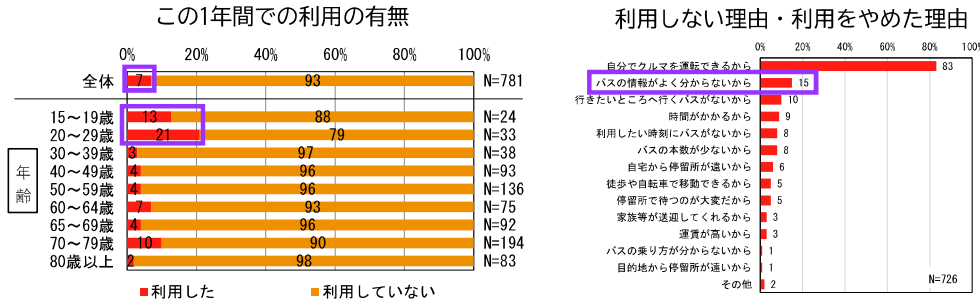


利用頻度【休日】



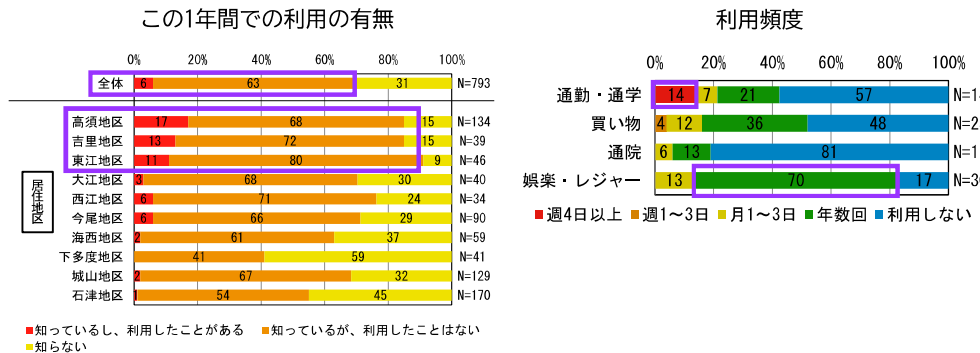
2. 海津市コミュニティバス(海津津島線以外)の利用について

- ・この1年間でコミュニティバスを「利用した」と回答した人は7%程度となっている。
- ・年齢別では、10代~20代で他の年代と比べて「利用した」の割合がやや高い。
- ・停留所までの移動手段は徒歩が最も多い。
- ・利用しない主な理由として、「自分のクルマを運転できるから」(83%)に次いで「バスの情報がよく分からないから」が15%となっており、情報の周知に課題があると考えられる。



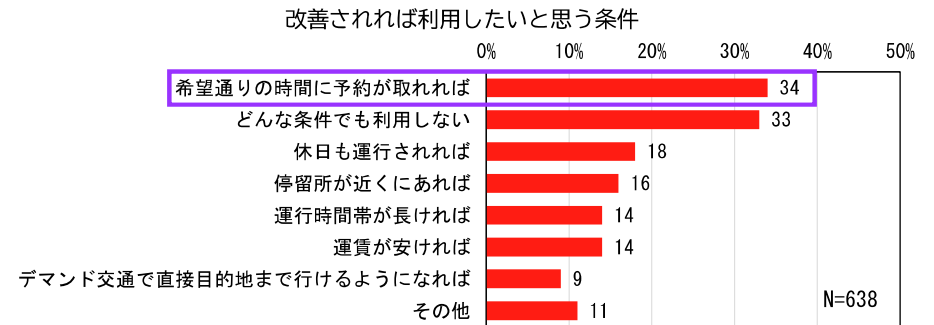
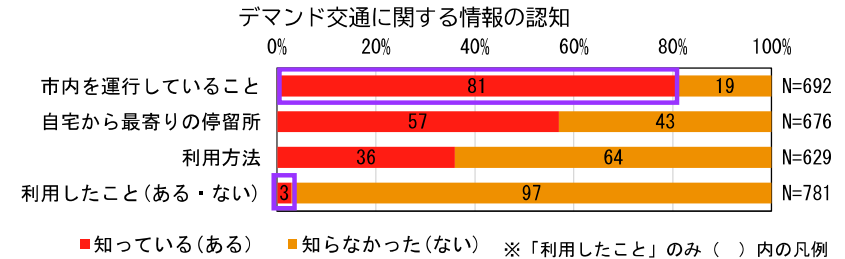
3. 海津津島線について

- ・海津津島線が運行されていることを知っている人は70%となっている。
- ・居住地区別では、海津津島線沿線である高須地区、吉里地区、東江地区での認知度が高く、利用も多い。
- ・通勤・通学では、「週4日以上」の高頻度で利用する人も一定数存在している。
- ・娯楽・レジャーでは「年数回」が70%となっており、外出時の選択肢として一定の役割を担っている。



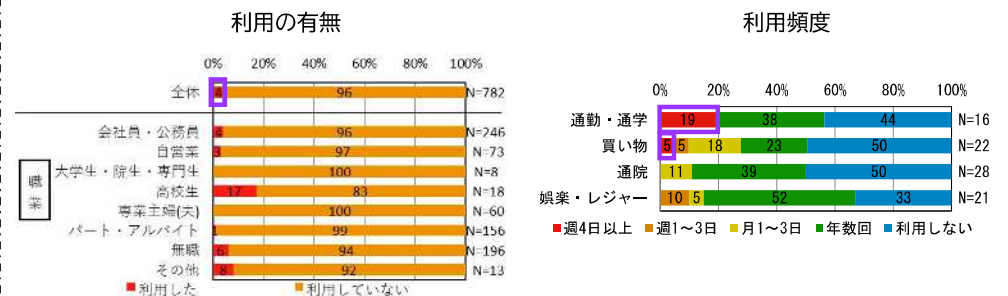
4. 海津市デマンド交通の利用について

- ・デマンド交通が市内を運行されていることを「知っている」と回答した人は81%と高い認知度である一方で、この1年間でデマンド交通の利用の有無については、「利用したことがない」と回答した人が3%となっており、利用のハードルが高いことが考えられる。
- ・自宅から最寄りの停留所を「知っている」と回答した人は57%と約半数となっているが、利用方法を「知っている」と回答した人は36%にとどまる。
- ・希望する時間に予約できないことが、利用を控える要因となっている。



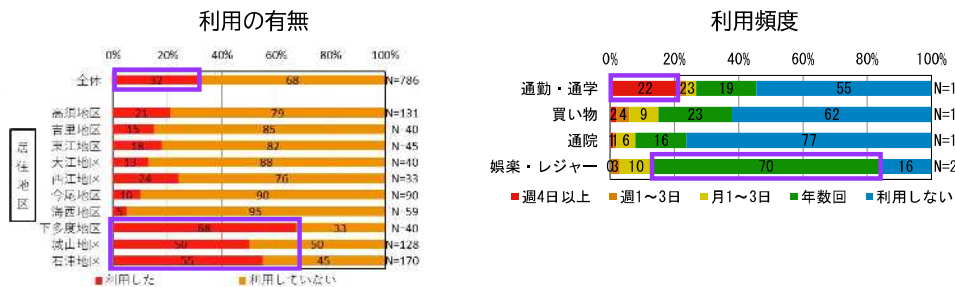
5. 名阪近鉄バス海津線の利用について

- ・この1年間で名阪近鉄バス海津線を「利用した」と回答した人は4%にとどまる。
- ・通院や娯楽・レジャーでは低頻度の利用が多いが、通勤・通学、買い物では高頻度の利用者がみられる。



6. 養老鉄道の利用について

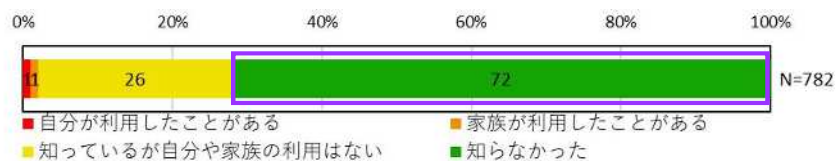
- ・この1年間で養老鉄道を「利用した」と回答した人は32%となっている。
- ・居住地区別では、養老鉄道沿線である下多度地区、城山地区、石津地区で「利用した」と回答した割合が高くなっている。
- ・通勤・通学で「週4日以上」利用が22%となっており、通勤・通学手段として重要な役割を担っている。
- ・娯楽・レジャーでは「年数回」が70%となっており、外出時の選択肢として一定の役割を担っている。



7. 福祉輸送事業について

- ・高齢者送迎サービスなどの福祉輸送事業について、「知らなかった」と回答した人が7割を超えており、十分な周知がなされていないと考えられる。
- ・高齢者送迎サービスなどの移送サービスについて、9割以上が「広まってほしい」と回答しており、拡充を望む意向は非常に高い。

高齢者送迎サービスなどの移送サービスが実施されていることの認知度



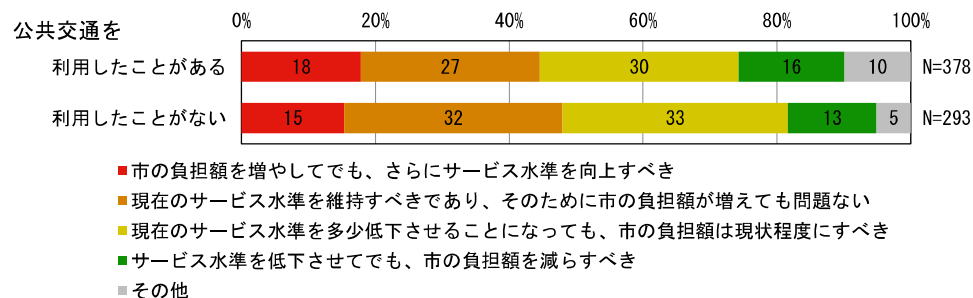
高齢者送迎サービスなどの移送サービスが広まってほしいか



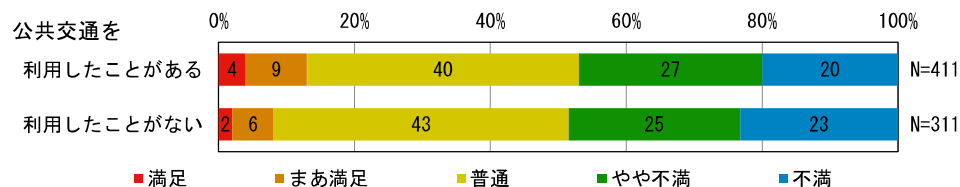
8. 海津市のコミュニティバス・デマンド交通について

- ・サービス水準と費用負担のバランスについては、公共交通を利用している人は利用していない人に比べて、市の負担が増加することを容認する人の割合がやや低い。
- ・交通機関の利便さについては、公共交通を利用している人は利用していない人に比べて、「満足」+「まあ満足」の割合がやや高い。

サービス水準と費用負担のバランス



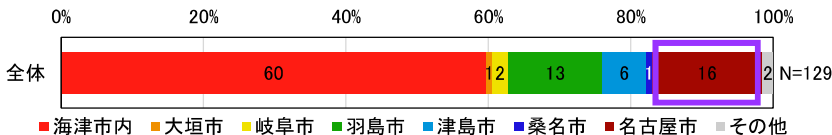
海津市の交通機関の利便さ



利用者アンケート結果

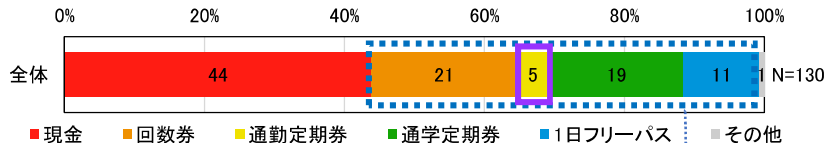
本日の目的地

- ・全体では、海津市内が60%と最も多くなっている。
- ・市外では名古屋市が最も多く16%となっており、海津津島線の運行によって利便性が向上したことが要因と考えられる。



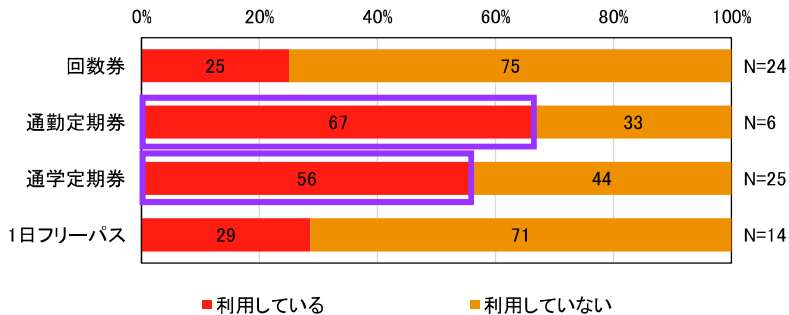
運賃の支払い方法

- ・全体では、現金利用が44%と最も多くなっており、非定期的利用者が多い。
- ・【本日の利用目的】で、通勤での利用は16%となっていたが、通勤定期券を利用している人は5%と少ない。



クイックライドの利用

- ・通勤定期券では67%、通学定期券では56%がクイックライドを利用しており、高頻度利用者には浸透していると考えられる。



コミュニティバス利用者アンケート

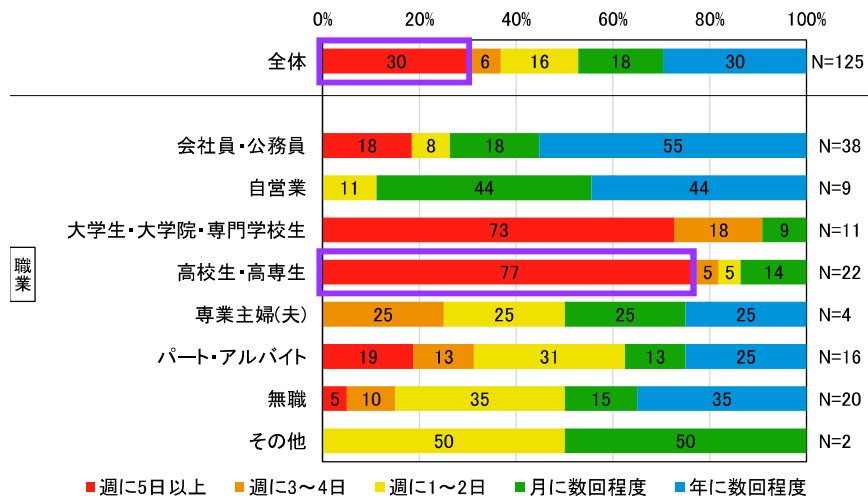
<調査概要>

調査対象: 海津市コミュニティバス利用者
 配布日: 令和7年10月25日(土)、26日(日)、28日(火)、30日(金)
 回答期限: 11月30日(日)
 調査方法: 調査員がバスに乗り込み利用者に配布/郵送回収(WEB併用)
 配布数: 377票
 回収数: 133票(郵送: 77件、WEB: 56件) 回答率: 35.3%

1. 普段の利用について

普段の利用頻度

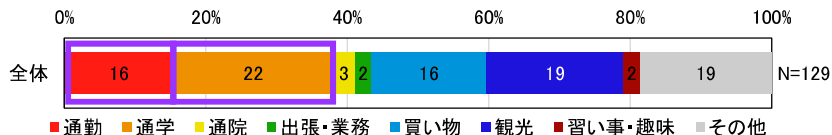
- ・全体では、「週5日以上」が30%を占め、高頻度で利用している人が多い。
- ・職業別では、高校生・高専生で「週5日以上」と答える人が77%を占め、通学利用が多いことが分かる。



2. 調査票受取日の利用について

本日の利用目的

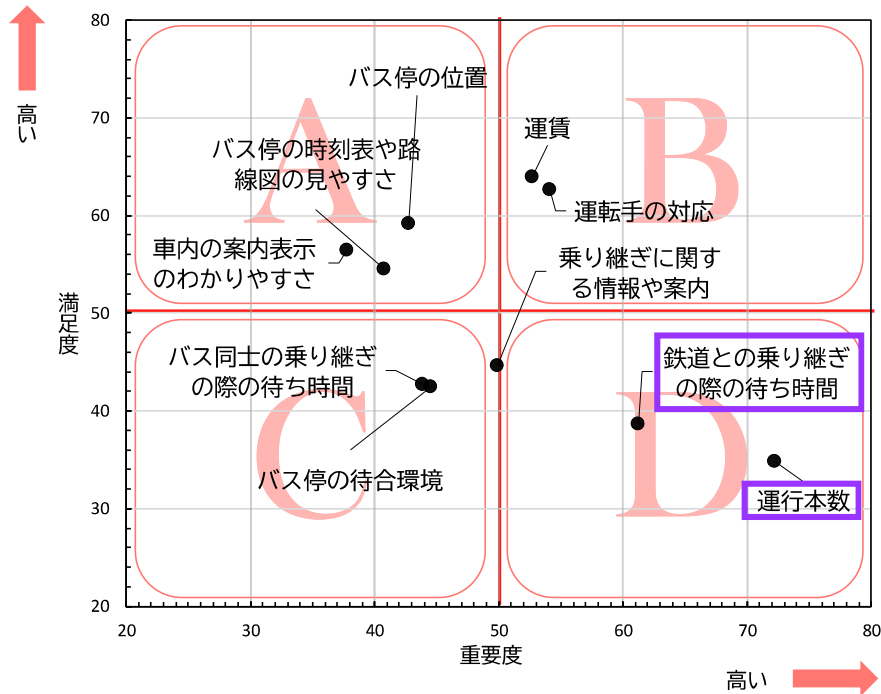
- ・全体では、通学が22%、通勤が16%、観光が19%、買い物が16%となっており、幅広い用途で利用されている。
- ・中でも通学が22%、通勤が16%となっていることから、通学・通勤手段として重要な役割を担っていることが考えられる。



3.海津市コミュニティバスの満足度と重要度

各項目の満足度(1~5点)と重要度(1~5点)を点数化し偏差値を算出した。散布図の横軸を重要度、縦軸を満足度とし、「A:満足度が高く、重要度が低い」、「B:満足度が高く、重要度が高い」、「C:満足度が低く、重要度が低い」、「D:満足度が低く、重要度が高い」の4つの領域に分類した。

- ・「鉄道との乗り継ぎの際の待ち時間」と「運行本数」は、満足度が低く、重要度が高い項目(散布図の分類D)として、今後改善が求められる項目と考えられる。



4.自由意見(多い意見を抜粋)

- ・ 休日のバスの本数を増やしてほしい。
- ・ 鉄道とバスの乗り継ぎを考慮したダイヤにしてほしい。
- ・ 朝の通学時間帯と夕方から夜にかけての下校時間のバスの本数を増やしてほしい。
- ・ 海津市役所でのバス同士の乗り継ぎ時間が長い。
- ・ お千代保稲荷線の最終便を遅くしてほしい。
- ・ コード決済や交通系ICカードが使えるとよい。

養老鉄道利用者アンケート

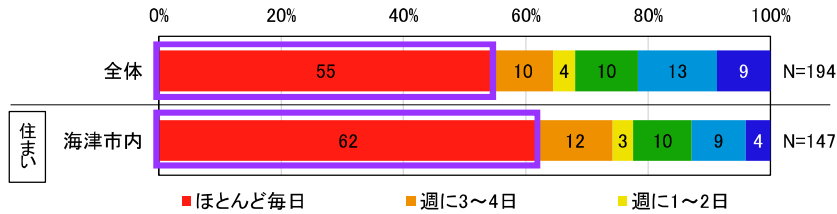
<調査概要>

調査対象: 駒野駅・石津駅での鉄道利用者
 配布日: 令和7年10月18日(土)、19日(日)、21日(火)、24日(金)
 回答期限: 11月30日(日)
 調査方法: 駒野駅・石津駅にて利用者に配布/郵送回収(WEB併用)
 配布数: 800票
 回収数: 211票(郵送:151件、WEB:60件) 回答率:26.4%

1. 普段の利用について

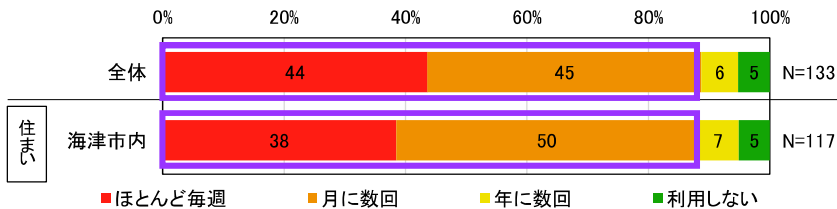
普段の利用頻度[平日]

- 全体では、ほとんど毎日が55%となっている。
- 住まい別でみると、海津市内在住の利用者の62%がほとんど毎日利用している。



普段の利用頻度[休日]

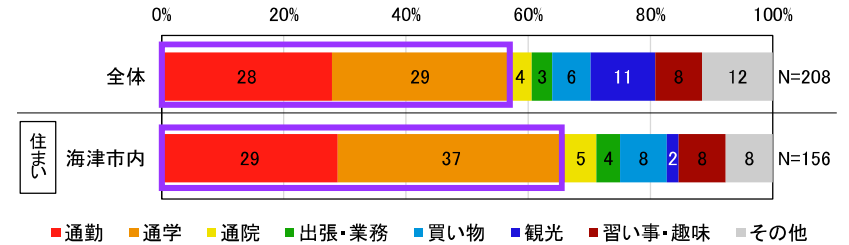
- 全体では、「ほとんど毎週」+「月に数回」が89%を占めている。
- 住まい別でみると、海津市内在住者の「ほとんど毎週」+「月に数回」は88%となっており、土日にも一定の鉄道需要が存在している。



2. 調査票受取日の利用について

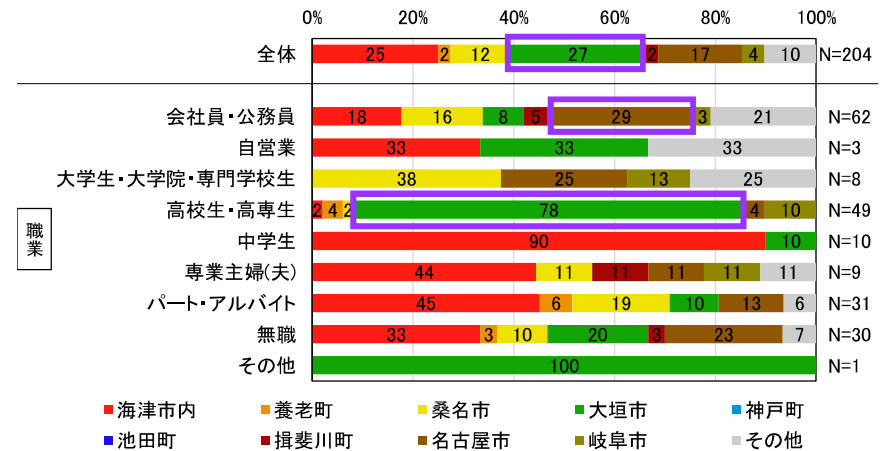
本日の利用目的

- 全体では、「通勤」+「通学」が57%となっている。
- 住まい別では、海津市内在住者の「通勤」+「通学」は66%となっており、通勤・通学の足として重要な役割を担っていると考えられる。



本日の最終目的地

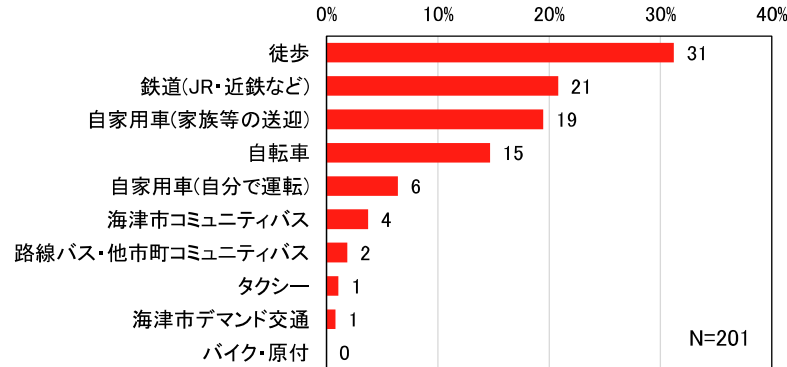
- 全体では、大垣市が27%で最も多く、次いで海津市内在住者が25%となっている。
- 職業別では、会社員・公務員で最も多いのは名古屋市で29%、高校生・高専生で最も多いのは大垣市で78%となっている。



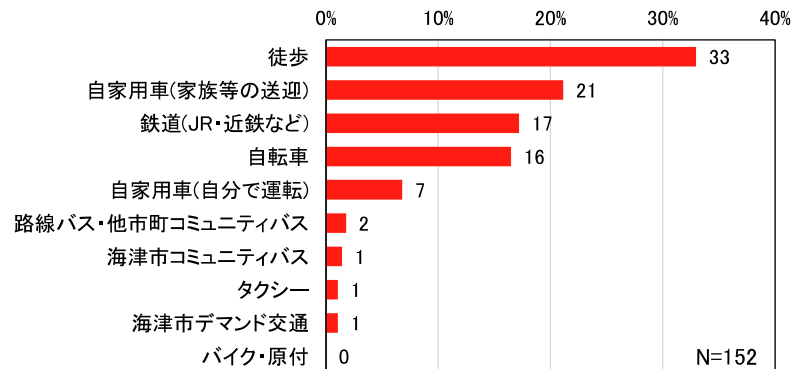
乗車駅までの移動手段・降車駅からの移動手段

- ・全体では、徒歩が最も多く31%となっており、次いで鉄道（JR・近鉄）が21%となっている。
- ・住まい別では、海津市内在住者は徒歩が最も多く33%となっており、次いで家族等による自家用車での送迎が21%となっている。

全体



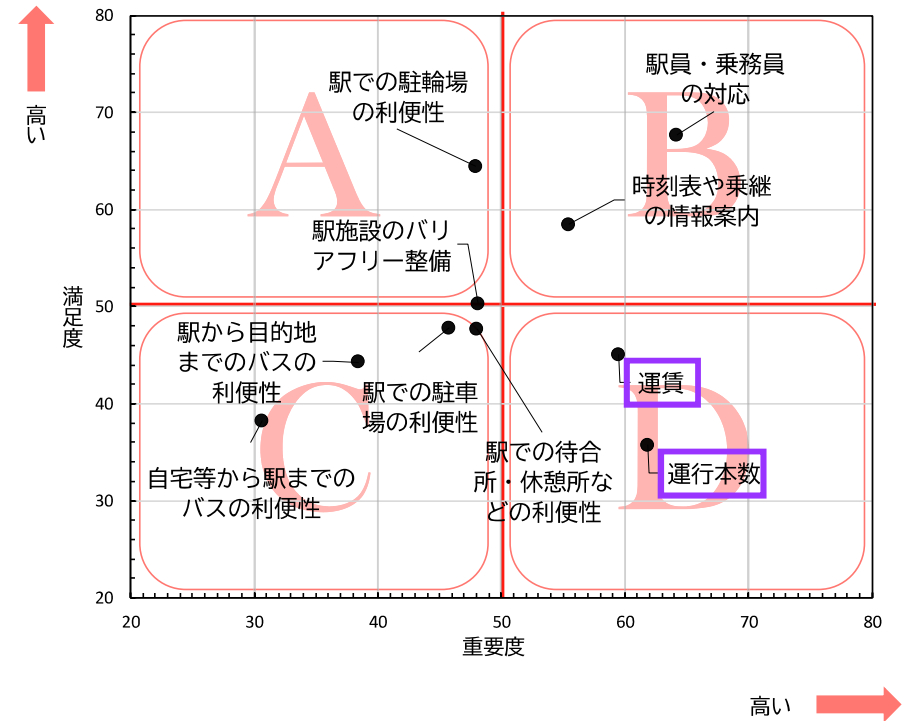
住まい：海津市内



3. 養老鉄道の満足度と重要度

各項目の満足度(1~5点)と重要度(1~5点)を点数化し偏差値を算出した。散布図の横軸を重要度、縦軸を満足度とし、「A:満足度が高く、重要度が低い」、「B:満足度が高く、重要度が高い」、「C:満足度が低く、重要度が低い」、「D:満足度が低く、重要度が高い」の4つの領域に分類した。

- ・「運賃」と「運行本数」は、満足度が低く、重要度が高い項目（散布図の分類D）として、今後改善が求められる項目と考えられる。



4. 自由意見(多い意見を抜粋)

- ・1時間に2本程度は本数が欲しい。
- ・朝の通勤・通学時間帯を増便してほしい。
- ・運賃が高い。
- ・朝の時間帯だけでも3両編成にしてほしい。
- ・駒野駅前のロータリーが狭い。
- ・各駅のトイレが汚いのできちんと清掃してほしい。

デマンド交通利用者アンケート

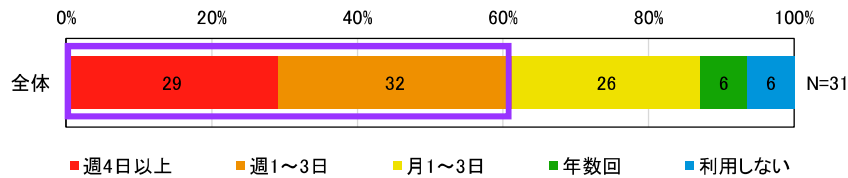
<調査概要>

調査対象: 海津市デマンド交通利用者
 配布日: 令和7年10月1日(水)~31日(金)
 回答期限: 11月30日(日)
 調査方法: デマンド交通運転手から利用者に配布/郵送回収(WEB併用)
 配布数: 200票
 回収数: 88票(郵送: 82件、WEB: 6件) 回答率: 44.0%

1. 普段の利用について

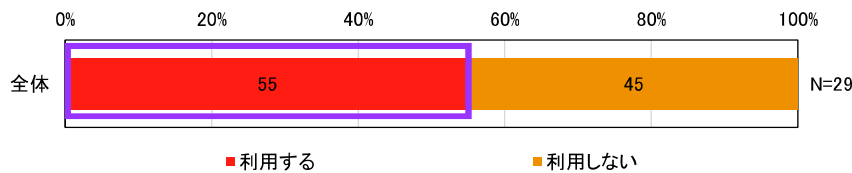
普段の利用頻度[全体]

・全体では、週に1回以上利用する人が61%となっており、比較的高頻度で利用する人が多い。



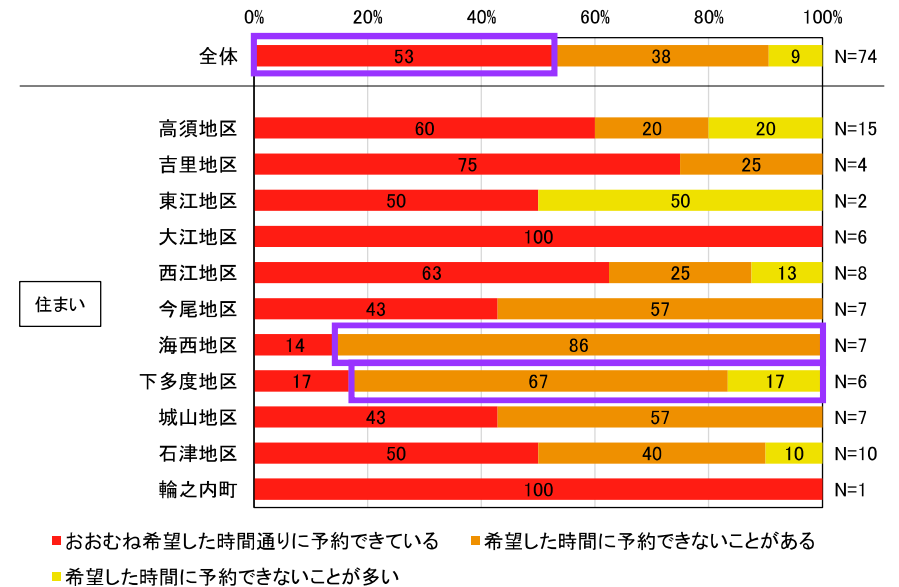
土曜日の利用[全体]

・全体では、土曜日に利用する人が55%、利用しない人が45%となっている。



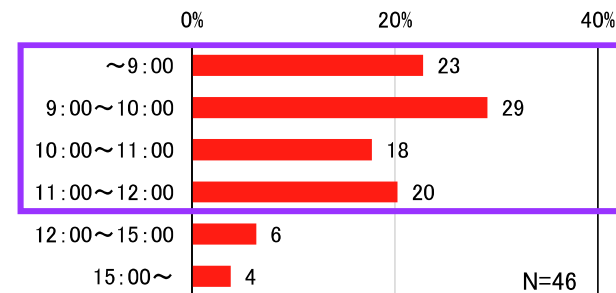
希望した時間に予約ができていますか

- ・全体では、「おおむね希望した時間通りに予約できている」が53%、「希望した時間通りに予約できないことがある」+「希望した時間に予約できないことが多い」が47%となっており、評価はおおむね半々となっている。
- ・(参考) 住まい別にみると、市内の最遠部に位置する海西地区、下多度地区では、希望した時間に予約できないという回答が多く、途中で停車する他の利用者の予約時刻の影響を受けやすく、その結果、予約時刻の自由度が低下している可能性がある。



予約が取れない時間帯

- ・全体では、9:00~10:00が最も多く29%、次いで運行開始~9:00が23%、11:00~12:00が20%となっており、午前中の予約が取りにくいという意見が多い。



デマンド交通の往復・片道利用

・全体では、往復で利用する人が83%を占めている。



■ 往復とも利用することが多い ■ ときどき片道のみ利用する ■ 片道のみ利用することが多い ■ その他

片道利用の理由:

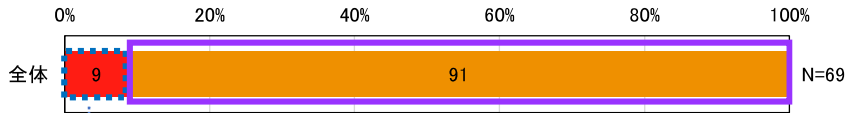
片道は送迎してくれる人がいる…5名 帰りは予約時間が不確定だから…4名
片道は予約が取れないから…2名

その他の意見として「到着時刻が指定できない」「朝は相乗りの場合があるから電車の時刻に間に合わない」といった意見があった。

2. 調査票受取日の利用について

他の公共交通機関との乗り継ぎ

・全体では、デマンド交通のみ利用した人が91%を占め、他の公共交通機関と乗り継いで利用する人は少数となっている。

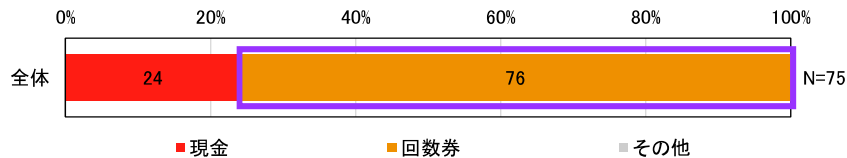


■ 他の公共交通機関と乗り継いだ ■ デマンド交通のみ利用した

内訳：海津市コミュニティバス…2名 名阪近鉄バス…2名
養老鉄道…1名 養老町オンデマンド…1名

運賃の支払い方法

・全体では回数券を利用している人が76%となっており、利用者の多くが繰り返し利用していることが考えられる。

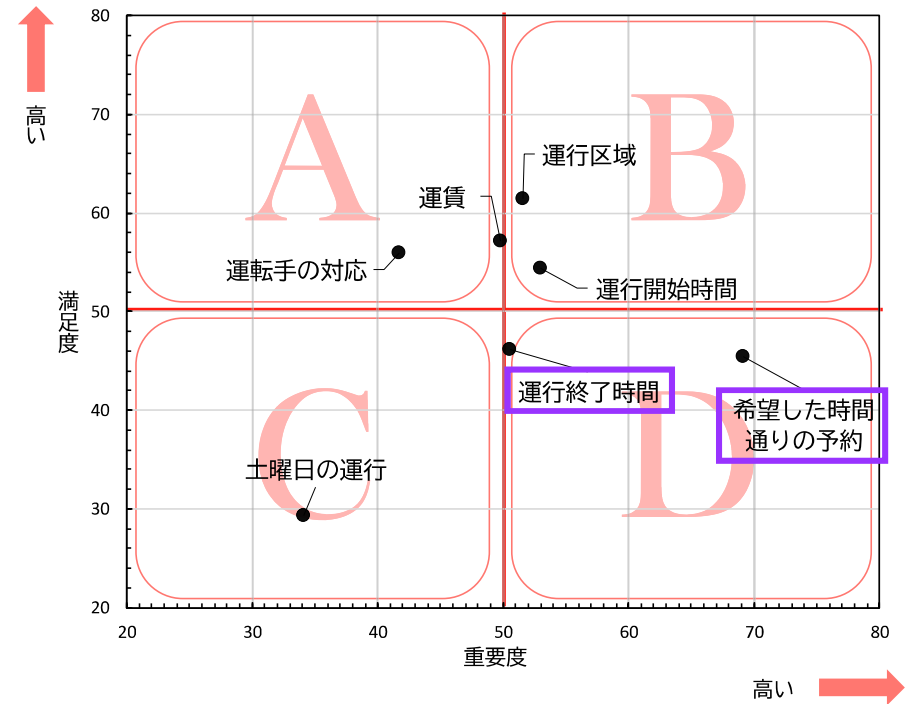


■ 現金 ■ 回数券 ■ その他

3. 海津市デマンド交通の満足度と重要度

各項目の満足度(1~5点)と重要度(1~5点)を点数化し偏差値を算出した。散布図の横軸を重要度、縦軸を満足度とし、「A:満足度が高く、重要度が低い」、「B:満足度が高く、重要度が高い」、「C:満足度が低く、重要度が低い」、「D:満足度が低く、重要度が高い」の4つの領域に分類した。

・「運行終了時間」と「希望した通りの予約」は、満足度が低く、重要度が高い項目(散布図の分類D)として、今後改善が求められる項目と考えられる。



4. 自由意見(多い意見を抜粋)

- ・市の最遠部は、他のお客さんの乗り降りで遠回りになり、乗車時間が長くなる。
- ・希望通りの時間が予約が取れない。
- ・日曜日にも運行してほしい。
- ・定期券があるとありがたい。

意見交換会実施結果

<実施概要>

目的：海津市の公共交通の現状を把握していただこうと、日常生活における移動の問題点や困りごとを共有し、コミュニティバスやデマンド交通など、住民の視点から利用しやすい公共交通について考えていただくことを目的とする。

実施日：令和7年11月29日(土)
会場：南濃総合福祉会館「ゆとりの森」
参加人数：10名

主な意見

赤字：多かった意見

テーマ1: 移動の困りごとを共有する

一海津市コミュニティバス一

- ・終バスの時間が早い。
- ・平田地区から大垣方面の高校への通学が大変。
- ・バス停までの移動がづらい。
- ・**乗り継ぎがわかりづらい。**

一海津市デマンド交通一

- ・**予約方法がわからない。**
- ・予約を断られると次回使いたくなくなる。
- ・日曜日に使えない。
- ・**急な用事だと予約できない。**

一養老鉄道一

- ・大垣、桑名での乗り継ぎ時間が長い。
- ・駒野駅にタクシーがない。
- ・駒野駅前のロータリーが狭い。
- ・朝の駒野駅が送迎で混む。

一その他一

- ・タクシーを呼んでも来ない。
- ・公共交通のことを知らないとどうしたらいいかわからない。
- ・地区社協のボランティアドライバーさんが高齢化している。

テーマ2: 利用しやすい公共交通を考える

一海津市コミュニティバス一

- ・誰も乗ってなくてもバスが走ってほしい。
- ・名所を巡回するバスがあるといい。
- ・交通系ICカードやコード決済で支払えるとよい。

一海津市デマンド交通一

- ・予約方法を周知する。
- ・日曜日でも運行してほしい。
- ・デマンド交通を利用したおでかけの企画があるといい。

一養老鉄道一

- ・養老鉄道とコミュニティバスの接続をわかりやすく時刻表で表してほしい。

一その他一

- ・**市役所にバス利用者用の駐車スペースを整備してほしい。**
- ・地区社協や自治会で組織づくりし、助け合いの制度が必要。

プログラム

13:00~13:03	開会【3分】
13:03~13:15	行政説明（現状の説明等）【12分】
13:15~14:25	意見交換【70分】グループで意見交換をします！ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> テーマ① ふだんの移動で困っていることを共有しよう！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> テーマ② どうすればもっと公共交通が利用しやすくなるか考えよう！ </div>
14:25~14:40	グループ発表【3~5分/班】
14:40	閉会

実施風景



意見交換実施風景



グループ発表



意見交換実施結果（グループ1）



意見交換実施結果（グループ2）

資料3

令和7年度 海津市地域公共交通会議 補正予算書 (案)

歳入予算額： 11,307千円

歳出予算額： 11,307千円

1. 歳入

(単位：千円)

款	項	目	当初予算	補正予算	合計	説明
1	負担金	1 負担金	6,360	0	6,360	海津市負担金 6,360
2	補助金	1 補助金	0	4,946	4,946	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 4,946
3	繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4	諸収入	1 諸収入	1	0	1	預金利子 1
歳入合計			6,361	4,946	11,307	

2. 歳出

(単位：千円)

款	項	目	当初予算	補正予算	合計	説明
1	運営費	1 会議費	131	0	131	委員報償 123 費用弁償 8
		2 事務費	69	0	69	消耗品、郵便料等 69
2	事業費	1 事業費	6,160	4,946	11,106	会議運営支援委託業務 968
						次期地域公共交通計画策定委託料 5,192 海津市コミュニティバス運行事業補助金 4,946
3	予備費	1 予備費	1	0	1	予備費 1
歳出合計			6,361	4,946	11,307	


お千代保稲荷線 ダイヤ改正（案）について

1. 概要

平日のお千代保稲荷線の岐阜羽島駅 16 時 15 分発の便について、発車時刻を遅らせることで、主に名鉄新羽島駅からコミュニティバスへ乗り換えをする学生が、下校時に利用できるようになることから、時刻の見直しを行う。

2. 変更内容

路線名 お千代保稲荷線

変更前		変更後
[平日]第 18 便 岐阜羽島駅 16 : 15 発 海津市役所行き		[平日]第 18 便 岐阜羽島駅 16 : 35 発 海津市役所行き

3. 変更日

令和8年4月1日（水）

4.ダイヤ変更 (案)

【変更案】お千代保稲荷線 (平日)

便番号	3便	4便	7便	8便	10便	12便	14便	17便	18便	21便	22便	25便	26便
車両	ジャ	中型	小型	中型	中型	中型	中型	中型	中型	中型	小型	中型	小型
岐阜羽島駅		7:25	9:20	10:22	11:40	12:35	13:40	15:35	16:35	17:35	18:35	19:35	20:35
県立看護大学		7:30	9:25	10:27	11:45	12:40	13:45	15:40	16:40	17:40	18:40	19:40	20:40
大藪東		7:35	9:30	10:32	11:50	12:45	13:50	15:45	16:45	17:45	18:45	19:45	20:45
勝賀西		7:37	9:32	10:34	11:52	12:47	13:52	15:47	16:47	17:47	18:47	19:47	20:47
野寺		7:38	9:33	10:35	11:53	12:48	13:53	15:48	16:48	17:48	18:48	19:48	20:48
大須	7:32	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
幡長	7:37	7:40	9:35	10:37	11:55	12:50	13:55	15:50	16:50	17:50	18:50	19:50	20:50
者結	7:38	7:41	9:36	10:38	11:56	12:51	13:56	15:51	16:51	17:51	18:51	19:51	20:51
西小藪	7:41	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
野市場	7:43	7:43	9:38	10:40	11:58	12:53	13:58	15:53	16:53	17:53	18:53	19:53	20:53
蛇池	7:44	7:44	9:39	10:41	11:59	12:54	13:59	15:54	16:54	17:54	18:54	19:54	20:54
お千代保稲荷	7:45	7:45	9:40	10:42	12:00	12:55	14:00	15:55	16:55	17:55	18:55	19:55	20:55
平田支所	7:47	7:47	9:42	10:44	12:02	12:57	14:02	15:57	16:57	17:57	18:57	19:57	20:57
今尾	7:49	7:49	9:44	10:46	12:04	12:59	14:04	15:59	16:59	17:59	18:59	19:59	20:59
今尾南	7:51	7:51	9:46	10:48	12:06	13:01	14:06	16:01	17:01	18:01	19:01	20:01	21:01
高田西	7:54	7:54	9:49	10:51	12:09	13:04	14:09	16:04	17:04	18:04	19:04	20:04	21:04
平原	7:56	7:56	9:51	10:53	12:11	13:06	14:11	16:06	17:06	18:06	19:06	20:06	21:06
馬目西方	7:57	7:57	9:52	10:54	12:12	13:07	14:12	16:07	17:07	18:07	19:07	20:07	21:07
海津市役所 着	7:59	7:59	9:54	10:56	12:14	13:09	14:14	16:09	17:09	18:09	19:09	20:09	21:09
海津市役所 発													
海津明誠高校口													
駒野駅													

※中型：55人乗り中型バス

小型：33人乗り小型バス

ジャ：9人乗りジャンボタクシー

【現行】お千代保稲荷線 (平日)

便番号	3便	4便	7便	8便	10便	12便	14便	17便	18便	21便	22便	25便	26便
車両	ジャ	中型	小型	中型	中型	中型	中型	中型	中型	中型	小型	中型	小型
岐阜羽島駅		7:25	9:20	10:22	11:40	12:35	13:40	15:35	16:15	17:35	18:35	19:35	20:35
県立看護大学		7:30	9:25	10:27	11:45	12:40	13:45	15:40	16:20	17:40	18:40	19:40	20:40
大藪東		7:35	9:30	10:32	11:50	12:45	13:50	15:45	16:25	17:45	18:45	19:45	20:45
勝賀西		7:37	9:32	10:34	11:52	12:47	13:52	15:47	16:27	17:47	18:47	19:47	20:47
野寺		7:38	9:33	10:35	11:53	12:48	13:53	15:48	16:28	17:48	18:48	19:48	20:48
大須	7:32	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
幡長	7:37	7:40	9:35	10:37	11:55	12:50	13:55	15:50	16:30	17:50	18:50	19:50	20:50
者結	7:38	7:41	9:36	10:38	11:56	12:51	13:56	15:51	16:31	17:51	18:51	19:51	20:51
西小藪	7:41	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
野市場	7:43	7:43	9:38	10:40	11:58	12:53	13:58	15:53	16:33	17:53	18:53	19:53	20:53
蛇池	7:44	7:44	9:39	10:41	11:59	12:54	13:59	15:54	16:34	17:54	18:54	19:54	20:54
お千代保稲荷	7:45	7:45	9:40	10:42	12:00	12:55	14:00	15:55	16:35	17:55	18:55	19:55	20:55
平田支所	7:47	7:47	9:42	10:44	12:02	12:57	14:02	15:57	16:37	17:57	18:57	19:57	20:57
今尾	7:49	7:49	9:44	10:46	12:04	12:59	14:04	15:59	16:39	17:59	18:59	19:59	20:59
今尾南	7:51	7:51	9:46	10:48	12:06	13:01	14:06	16:01	16:41	18:01	19:01	20:01	21:01
高田西	7:54	7:54	9:49	10:51	12:09	13:04	14:09	16:04	16:44	18:04	19:04	20:04	21:04
平原	7:56	7:56	9:51	10:53	12:11	13:06	14:11	16:06	16:46	18:06	19:06	20:06	21:06
馬目西方	7:57	7:57	9:52	10:54	12:12	13:07	14:12	16:07	16:47	18:07	19:07	20:07	21:07
海津市役所 着	7:59	7:59	9:54	10:56	12:14	13:09	14:14	16:09	16:49	18:09	19:09	20:09	21:09
海津市役所 発													
海津明誠高校口													
駒野駅													

※中型：55人乗り中型バス

小型：33人乗り小型バス

ジャ：9人乗りジャンボタクシー

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

海津市地域公共交通会議 (海津市)

平成 2 5 年 1 2 月 5 日設置

令和 2 年 3 月 第 2 次海津市地域公共交通網形成計画策定
(計画期間：令和 2 年 4 月～令和 9 年 3 月)

令和 6 年 5 月 2 2 日 地域公共交通計画「別紙」(案)承認

令和 7 年 3 月 2 7 日 令和 6 年度評価結果送付

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

地域の特性・概要・公共交通の取り組みの背景

- ・市内の公共交通は、養老鉄道、名阪近鉄バス、市コミュニティバス、タクシーで構成
- ・令和4年10月に定時定路線バスの路線再構築を実施
- ・令和5年10月に名古屋圏アクセスバス（海津津島線）の実証実験を実施
- ・令和5年10月にデマンド交通の土曜日運行の実証実験を実施
- 人口：31,815人（令和6年4月現在）
- 鉄道：養老鉄道養老線
- 地域間幹線系統：名阪近鉄バス海津線
- フィーダー系統：海津市デマンド交通

第2次海津市地域公共交通計画(令和2～8年度)

基本方針 「みんなでつくる、便利な公共交通網」

目標

- ① 持続可能性を考慮した公共交通網の構築
- ② 関係者の協働による公共交通網の構築
- ③ 住民が主体的に参画するための仕組みの構築

主要な施策

- ・名古屋圏アクセスバス実証実験
- ・デマンド交通（土曜日運行の本格実施）
- ・隣接市町への乗り入れ
- ・定時定路線バスの見直し

公共交通ネットワークイメージ



主な取り組み内容

取組名称	取組の概要	実施結果	考察
海津津島線実証運行	名古屋圏へのアクセス向上を目的として、海津市内と津島駅を結ぶ定時定路線バスの実証運行を継続して実施した。令和7年度からは、利用状況を踏まえ、車両の大型化による輸送力の強化を図った。	利用者数 25,222人 (R6.10~R7.9) 平均利用者数 平日 79.7人/日 休日 47.8人/日	令和6年4月以降、通学定期券の購入者が増加しており、名古屋方面へのアクセス向上や車両大型化が、通勤・通学利用を中心とした利用者数の増加に寄与しているものと考えられる。
デマンド交通土曜日運行	デマンド交通の土曜日の実証運行を実施した。	土曜利用者数 20.6人/日 (R6.10~R7.9) 参考 平日77.5人/日	土曜日の午前中を中心に一定の利用がみられ、土曜日の移動の利便性向上や平日朝の混雑緩和に寄与しているものと考えられる。
小中学生夏休み無料パスポート事業	夏休み期間中に、小中学生を対象として、市内のコミュニティバスを無料で利用できるパスポートを配布する取組について、昨年度に引き続き、今年度も実施した。	利用回数 のべ1,036回	無料でバスを利用できる機会を設けたことにより、小中学生が公共交通に触れる機会が創出され、公共交通を身近に感じてもらうきっかけとなったものと考えられる。これにより、将来的な公共交通の利用促進につながる効果が期待される。
現状把握及び地域ニーズ把握に関する調査	次期地域公共交通計画策定に係る調査を実施した。 ・市民アンケート ・利用者アンケート (コミュニティバス、デマンド交通、名阪近鉄バス、養老鉄道)	左記の調査を実施し、その結果を第42回地域公共交通会議（R8.1.22開催）において報告	各交通手段の利用実態や市民の移動ニーズを把握することができ、地域の交通課題を整理するための基礎的な情報を得ることができた。

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

第2次海津市地域公共交通網形成計画の目標達成状況

計画目標	評価指標	実績値			目標値	考察
		R5	R6	R7	R7	
鉄道の利便性、効率性及び満足度向上	利用者数 (人/年)					
	コミバス計	74,103 →	93,435 →	108,308 <	128,600	
	デマンド交通 (フィーダー系統 補助路線)	16,048 →	18,191 →	19,511 >	15,800	令和5年10月から土曜日運行の実証実験を開始したことにより、利用者が増加し、令和7年の目標値を上回った。
	定時定路線バス	58,055 →	75,244 →	88,797 <	112,800	定時定路線バス全体の利用者数は増加している。海津津島線は都心部方面への通勤・通学利用が定着し、お千代保稲荷線に次いで2番目に利用者が多い路線となっている。
	お千代保稲荷線	40,443	40,371	41,346	-	
	石津線	9,146	10,554	13,164	-	
	駒野線	6,326	5,773	5,677	-	
	木曾三川公園線	2,140	2,867	3,388	-	
	海津津島線	-	14,643	25,222	-	
養老鉄道 (市内駅乗降者数)	399,702 →	424,813 →	410,271 >	394,000	コロナ禍以降利用者は回復傾向にあり、令和7年の目標値を上回った。	
住民が主体的に公共交通に関わるための取組みの実施	運転免許証 自主返納者数 (人/年)	62 →	78 →	92 >	80	返納者数は増加しており、今後も継続して支援事業を実施する。

地域公共交通計画「別紙」の目標値

計画目標の現在の到達点	今後の取組み方針
<p>【デマンド交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日朝の時間帯において、依然として予約が取りづらい状況がみられる。 高速バス「にしみのライナー」との接続を図るため、安八スマートICにデマンド交通の停留所を設置し、運用を行っている。 土曜日については、これまでの実証運行の結果を踏まえ、本格運行に移行した。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日の本格運行後の利用状況を継続的に把握するとともに、平日朝の予約状況を踏まえ、運行体制や予約方法のあり方について検討する。 安八スマートIC停留所の利用状況を注視しつつ、引き続き「にしみのライナー」との接続確保に取り組む。
<p>【定時定路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで通勤・通学ラッシュ時の海津津島線において、積み残しが発生する便が存在していたが、ジャンボタクシー車両からバス車両へ変更し、輸送力の強化を図った。 平日に津島駅からお千代保稲荷へ向かう際の乗り継ぎ利便性に課題があったが、ダイヤを調整し、接続を改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> 車両変更後の利用状況や混雑状況を継続的に把握し、必要に応じて運行内容の見直しを検討する。 海津市役所における各路線間の乗り継ぎ利便性向上を図るため、時刻設定の見直しについて検討を進める。
<p>【公共交通のPR】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中に、小中学生を対象とした無料パスポート配布を今年度も実施した。 無料で公共交通を利用できる機会を設けることで、公共交通に触れるきっかけを創出した。 隣接自治体と連携し、海津津島線を活用した観光PRを実施することで、市内への観光客誘致および海津津島線の利用促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート調査等により得られた意見を踏まえ、PR施策や事業内容の改善について検討する。 小中学生が公共交通を利用して出かけることに親しみを持てるよう、体験型の企画や取組について検討する。 海津津島線をはじめとするコミュニティバスの利便性について、引き続き情報発信や周知に取り組む。

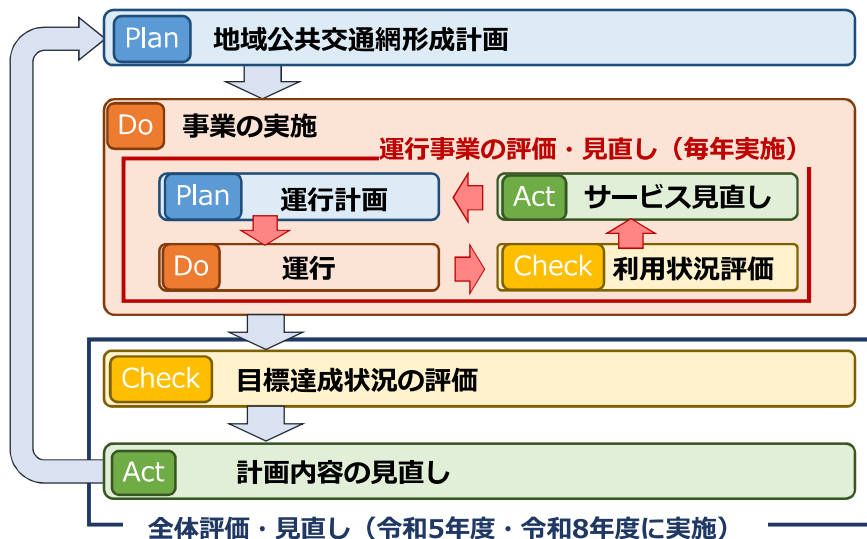
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養老鉄道の現状も注視し、鉄道とコミュニティバスの乗り継ぎに意識したダイヤ設定を検討するなど、積極的な利用促進を図られることを期待。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期地域公共交通計画策定に係る調査の一環として、養老鉄道の利用者アンケートを実施し、鉄道利用の実態や乗り継ぎ状況を把握した。調査結果は地域公共交通会議において共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、把握した利用実態を踏まえ、鉄道とコミュニティバスの乗り継ぎ利便性向上に向け、ダイヤ設定等について関係者と連携し検討を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験の結果を踏まえ、海津市全体の持続可能な公共交通の確保維持に向け、自治体、交通事業者や地域住民等関係者間で検証・検討を行い、取組を進められるよう期待。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋圏アクセスバスやデマンド交通等の実証実験結果について、自治体及び交通事業者等の関係者間で情報共有を行い、地域公共交通会議において検証及び意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も関係者間での検証・検討を継続し、海津市全体として持続可能な公共交通の確保・維持に向けた取組を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内を運行する地域間幹線系統については、引き続き、岐阜県・関係市町・運行事業者間で認識の共有を行うとともに、関係者間で連携して利用促進等に取り組まれるよう願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間幹線系統の運行状況や利用実態について、岐阜県、関係市町及び運行事業者との情報共有を行い、地域公共交通会議等を通じて認識の共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も関係機関との連携を継続し、利用状況や課題を踏まえた利用促進の取組について検討を進める。

※前回：令和7年3月27日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド交通の土曜日運行の実証実験、及び、海津津島線の実証運行について、利用状況を把握・検証し、本格運行への検討がなされることを期待。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ デマンドバスの土曜運行の実証実験を実施。 ・ 海津津島線の通勤通学ラッシュ時間帯において、積み残しが発生していることから、車両の大型化を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日の利用状況に注視し、本格運用に移行できるか検討。 ・ 車両の大型化や時刻の修正後の利用状況に注視し、本格運行に向けて検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の広報誌への掲載、住民説明会など、公共交通ネットワークに係る案内など、幅広い層への周知や利用促進に努めることを期待。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津島市の広報紙に海津津島線を掲載いただいたほか、津島市内の商業施設にてチラシを配布し、海津市外の利用者にもPRを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年4月のダイヤ改正に合わせ、公共交通の利用ガイドを全戸配布予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスに関するイベントを実施するなど、住民が主体的に関われる取組や公共交通に親しみを持ってもらえる施策の検討・実施を期待。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み期間中に、小中学生を対象に市内のコミュニティバスを無料で乗車できるパスポートを配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生がバスを利用して出かけることが楽しみになるようなイベントや企画を検討。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ にしみのライナーリレーバスの終了後、利用状況など必要に応じ、代替交通を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替交通として、デマンド交通の停留所を安八スマートICに設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況に注視し、にしみのライナーとの接続を継続する。

※前々回：令和6年3月21日

PDCAの推進体制



今後のスケジュール

年度	主な事業
令和7年度	次期計画の作成に向け各種調査の実施
令和8年度	次期計画の作成

直近の会議の開催状況

開催日	会議名称	主な議題
令和7年1月22日	第39回地域公共交通会議	自己評価
5月20日	第40回地域公共交通会議	令和6年度決算について 令和7年度予算について 地域公共交通別紙（案）について 小中学生夏休み無料パスポートの配布について 次期海津市地域公共交通計画の策定について
7月22日	第41回地域公共交通会議	デマンド交通土曜日運行の本格運行について 次期地域公共交通計画策定に係る各種調査計画について
令和8年1月22日	第42回地域公共交通会議	次期地域公共交通計画骨子案について 自己評価等について

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

海津市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年10月～令和7年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
利用者数 【R7年度】 デマンド交通 15,800人/年 定時定路線バス 112,800人/年 養老鉄道(市内駅乗降者数) 394,000人/年	養老鉄道の運行 都市間連絡バスの運行 拠点間連絡バスの運行 通勤・通学対応バスの運行 定時定路線バスの再構築 デマンド交通の適正な見直し	利用実績データ	【利用実績】 デマンド交通 19,511人/年 定時定路線バス 88,797人/年 養老鉄道(市内駅乗降者数) 410,271人/年 【分析】 ■デマンド交通 令和5年10月から土曜日運行を開始したことにより、平日朝に特定の利用者が集中していた利用状況に対し、利用機会の選択肢が広がった。その結果、利用の集中が一定程度緩和され、新たな利用が生じたことで、全体として利用者数が増加し、令和7年の目標値を上回ったと考えられる。 ■定時定路線バス 定時定路線バス全体の利用者数は増加している。海津津島線は都心部方面への通勤・通学利用が定着し、お千代保稲荷線に次いで2番目に利用者が多い路線となっている。 ■養老鉄道 コロナ禍以降利用者は回復傾向にあり、令和7年の目標値を上回った。	■デマンド交通 平日朝は依然として予約が集中し、希望時間通りの予約がとりづらい状況が見られることから、利用状況を分析し、さらなる改善案を検討。土曜日運行は、一定の利用が確認されているものの、利用の定着及び拡大に向け、利用実態の継続的な把握と利用促進策を検討。安ハスマートIC停留所の利用状況に注視し、今後もにしみのライナーとの接続を継続。 ■定時定路線バス 多客時における積み残し防止や効率的な車両運用を行うため、すべての車両を小型バスまたは中型バス車両への統一を検討。鉄道との接続や海津市役所での各路線間の乗り換え利便性向上のため時刻の見直しを検討。 ■養老鉄道 引き続き、駒野駅や石津駅でコミュニティバスを結節させるとともに、海津市公共交通利用ガイド等によるPRを行い、利用促進に努める。	
運転免許証自主返納者数 【R7年度】 80人/日	運転免許証自主返納の促進	返納者数実績データ	【達成状況】 92人/年 【分析】 返納者数は増加しており、今後も継続して支援事業を実施する。	今後も継続して支援事業を実施する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 海津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
スイトラベル株式会社	デマンド交通 市内全域420か所、市外7か所の停留所	<ul style="list-style-type: none"> ・次期地域公共交通計画策定に係る調査の一環として、養老鉄道の利用者アンケートを実施し、鉄道利用の実態や乗り継ぎ状況を把握 ・名古屋圏アクセスバスやデマンド交通等の実証実験結果について、自治体及び交通事業者等の関係者間で情報共有を行い、地域公共交通会議において検証及び意見交換を実施 ・地域間幹線系統の運行状況や利用実態について、岐阜県、関係市町及び運行事業者との情報共有を実施 	A 事業は、計画に基づき適切に実施された。	【目標】年間利用者数 目標値: 15,800人/年 実績: 19,511人/年 【要因】令和5年10月から土曜日運行を開始したことにより、平日朝に特定の利用者が集中していた利用状況に対し、利用機会の選択肢が広がった。その結果、利用の集中が一定程度緩和され、新たな利用が生じたことで、全体として利用者数が増加し、令和7年の目標値を上回ったと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ■デマンド交通 <ul style="list-style-type: none"> ・平日朝は依然として予約が集中し、希望時間通りの予約がとりづらい状況が見られることから、利用状況を分析し、さらなる改善案を検討。 ・土曜日運行は、一定の利用が確認されているものの、利用の定着及び拡大に向け、利用実態の継続的な把握と利用促進策を検討。 ・安ハスマートIC停留所の利用状況に注視し、今後もしみのライナーとの接続を継続。 ■定時定路線バス <ul style="list-style-type: none"> ・多客時における積み残し防止や効率的な車両運用を行うため、すべての車両を小型バスまたは中型バス車両への統一を検討。 ・鉄道との接続や海津市役所での各路線間の乗り換え利便性向上のため時刻の見直しを検討。 ■利用促進・PR策 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査から得られた意見を元に今後の事業内容を検討。 ・夏休み期間中に、市内のコミュニティバスを無料で利用できる小中学生夏休み無料パスポート事業を継続して実施

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月22日

協議会名:	海津市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>海津市(平成17年3月28日に旧海津町、旧平田町、旧南濃町が合併)は、岐阜県の南西部に位置し、市の西部には養老山地が連なり、平野部は雄大な木曾三川が流れ、海拔ゼロメートルの輪中地帯である。面積は112.03km²、人口は34,973人(平成30年4月1日)である。</p> <p>合併以降、人口減少・少子高齢化が著しく、特に学業、就職、結婚等の理由により、若年層の転出超過が続いている。要因として、公共交通機関、教育機関が乏しいことに加え、良質な雇用機会の不足による影響が非常に大きくなっている。</p> <p>令和元年度に「第2次海津市地域公共交通網形成計画」を策定し、将来像を「みんなでつくる、便利な公共交通網」とし、基本方針に①持続可能性を考慮した公共交通網の構築 ②関係者の協働による公共交通網の構築 ③住民が主体的に参画するための仕組みの構築 を掲げている。</p> <p>市の公共交通は、南北の隣接市町へ通じる養老鉄道及び大垣市へ通じる名阪近鉄バス海津線の幹線交通を軸に、市域内はコミュニティバス及びタクシーによって構成されている。コミュニティバスは、主に市内の拠点間移動を担う定時定路線型バス4路線(お千代保稲荷線、石津線、駒野線、木曾三川公園線、海津津島線)と、幹線交通等へのダイレクトな接続を含めた市内全域及び隣接市町の指定停留所間の移動が可能なデマンド交通によって構成されている。</p> <p>これらの公共交通については、幹線交通が広域幹線、定時路線型バスが準幹線として市内外への通勤・通学、病院・診療所への通院、商店やスーパーなどへの買物、温泉等の公共施設への利用に加え、岐阜県内で有数の集客力を誇るお千代保稲荷、国営木曾三川公園への観光施設へのアクセスにも利用され、日常生活に必要不可欠な交通手段として機能している。また、デマンド交通が定時路線型バスを補完する機能を有し、利便性の高い交通手段として支線の役割を果たしている。</p> <p>特に、デマンド交通は、定時路線型バスが運行されていない市内の地域では唯一の公共交通であり、市内全体の公共交通利用者が減少傾向にある中で、高齢者や自動車免許自主返納者の増加に伴い利用者が微増を続けており、運行を維持する重要性が益々高まっている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持改善事業によりデマンド交通を確保・維持することで、交通弱者を始めとした市民の交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

計画の区域・期間

計画区域：海津市全域（隣接市町との連携を含む）
 計画期間：令和9年度～令和13年度（5年間）

利用実態・ニーズの把握

- ・市民アンケート
- ・利用者アンケート
- ・住民懇談会等



現状・問題点

公共交通の現状・問題点

- ・デマンド交通について、予約方法等の周知が必要
- ・休日のバスの本数が少ない
- ・海津市役所でのバス同士の乗り継ぎが不便
- ・平日朝と夕方の通学時間帯のバスの本数が不十分
- ・養老線について、朝の通勤・通学時間帯の本数が不十分
- ・地区社協や自治会で組織づくりし、助け合いの制度が必要
- ・地区社協のボランティアドライバーが高齢化している
- ・駒野駅前道路・ロータリーや海津市役所のバス利用者用の駐車場の整備が必要

課題

課題Ⅰ 利便性と効率性の両立

- ・海津市においては、今後予想される人口減少や少子高齢化の進行、深刻な運転手不足、厳しい財政状況を踏まえると、単純なサービスの向上は難しいと言えます。そのため、地域公共交通のより一層の効率化をもって、ニーズの高い部分に絞ってサービス向上を図る必要があります。
- ・現状の公共交通サービスは、地域ごとにサービス水準の偏りがみられるため、市民が満遍なくサービスを受けられるために、既存交通機関のサービスシステムの見直しが必要となります。
- ・安定した利用の維持や、新規利用客を獲得するため、進展しつつある情報通信技術（ICT）の活用を軸に、市内・市外在住の新規利用の掘り起こしが必要です。
- ・現在、コミュニティバスは、バス車両4台、ジャンボタクシー1台で運行していますが、ジャンボタクシーでの運行時には積み残しが発生することがあるほか、運行の効率性の面でも課題があるため、車両構成を見直す必要があります。

課題Ⅱ 関係機関との連携強化

- ・海津市の公共交通は、「養老鉄道とコミュニティバス」「養老鉄道と私的交通手段」「名阪近鉄バスとコミュニティバス」との連携がまだ不十分です。
- ・また、福祉等其他施策との連携についてもまだ不十分と言えます。

課題Ⅲ 住民の公共交通施策への積極関与

- ・海津市第2次総合計画では、目標として「協働による自主的・自律的なまちづくり」を掲げています。また、海津市の日常生活の移動は自家用車が主体であり、公共交通を「わがごと」とは捉えづらい状況にあると言えます。
- ・そのため、行政任せではなく、住民が主体的に公共交通に関わるための様々な環境整備が求められます。

基本方針

基本方針① 持続可能性を考慮した公共交通網の構築

- ・海津市民の公共交通の満足度は、現状では高いとは言えない水準です。そのため、鉄道、路線バス、その他交通手段の連携を強化し、移動ニーズに対応した「市民が満足する、便利な公共交通網」を構築していきます。
- ・特に、デマンド交通は、定時路線型バスが運行されていない市内の地域では唯一の公共交通であり、高齢者や運転免許証自主返納者の増加に伴い、運行を維持する重要性が益々高まっていることから、地域公共交通確保維持改善事業により、引き続き確保・維持していく必要があります。
- ・一方で、海津市では今後、人口減少、少子高齢化がより進むことが予想されます。厳しい財政状況の中で、市民のニーズを全て満たすことは困難です。
- ・これらの状況を踏まえ、地域公共交通を将来にわたり維持していくため、地域ごとの利用実態やニーズに応じて、運行内容や車両構成を見直すことに加え、利用促進事業を継続的に実施するとともに、交通結節点である市役所においてバスターミナルの整備を進め、乗り継ぎの円滑化や利用者の安全性向上を図ることで、利便性と効率性の両立を図り、安定した利用の確保と新規利用の創出を目指します。

基本方針② 関係者の協働による公共交通網の構築

- ・海津市には複数の交通手段が存在します。駅などの交通結節点では乗り換えが発生しますが、交通事業者同士が連携し、乗り換え時間を考慮したダイヤの設定を検討するなど、利用者の負担軽減を図ることにより、より一層の円滑化を図ります。
- ・海津市は、日常生活において市外への移動が多いという特徴があります。移動手段の確保において、市町境はもちろんのこと、県境の垣根を越えた連携を継続します。
- ・公共交通の施策内容は、福祉分野等の他部署との関わりがあることから、関係する分野の部署とも積極的に連携し、公共交通の維持や充実のため関係施策の円滑な遂行を図ります。

基本方針③ 住民が主体的に参画するための仕組みの構築

- ・便利な公共交通網をつくるためには、市民の協力が不可欠です。市民が積極的に、社会的に望ましい交通手段を選択できるようにするために、様々な環境整備を実施していきます。
- ・また、市民自らが移動手段をつくり出せるようにするため、行政が支援できる仕組みを考えていきます。